



ミクロネシア NEWS

2019年5月20日第9号
JICA 青年海外協力隊
ミクロネシア連邦派遣
小学校教育隊員
磯崎 春美（中野区立江原小学校）

江原小学校のみなさん、こんにちは。青葉が美しい季節になりましたね。ゴールデンウィークも終わり楽しい思い出もたくさんできたでしょうか。さて、みなさんは新しい学年が始まったばかりの5月ですが、ミクロネシアの学校は学年が変わる前の最後の月になります。5月24日が最後の登校日で、29日は小学校8年生の卒業式。そして6月からは夏休みが始まります。学期末のテストも終わり、先生たちは成績をつけたり教室を片づけたりと大忙しです。子どもたちは学期末のお楽しみ会をととても楽しみにしてわくわくしています。

今回のミクロネシアニュースは同じポンペイで働いている協力隊の活動を紹介します。協力隊には様々な職種があること、幅広い年代の方が活躍していることをみなさんに知ってもらえたら嬉しいです。



わたしは2018年、1次隊として去年の6月にミクロネシア連邦のポンペイ島にやってきました。同じ日に一緒にポンペイに来た隊員が他にも4人います。私と同じく学校の先生として働いている隊員もいれば、ポンペイ州の教育庁で算数の専門家として活動している方もいます。また、同じ教育の仕事でも環境のことについて啓発活動を行う隊員もいます。また、チュークというポンペイと離れた島で観光局で働いている隊員もいます。



ポンペイ教育庁で働く三澤隊員

まずはポンペイ教育庁で算数の専門家として活動されている三澤さんのことを紹介します。三澤さんは現在44歳で、シニア海外協力隊として参加しています。今回は家族でポンペイにやってきました。三澤さんは20代の時に青年海外協力隊としてマーシャル諸島で高校生に算数を教えていました。現在はポンペイ州の教育庁（教育委員会のような場所）でお仕事をされています。

どんなことをしているのか聞いてみたら、主に以下のことをしているそうです。

1. 教員へのワークショップ開催
2. 教材開発（ワークシートづくり）
3. 算数にかかわる行事の運営
4. 数学オリンピックの問題作成への協力



ポンペイ州の学校を回って授業観察をしたり、ワークショップを開いて先生たちが正しく楽しく算数を教える手助けをしています。ポンペイの小学校には教科書がないので、ワークシートをつかってホームページからいつでもダウンロードして使えるようにしています。私の学校でも三澤さんがつくったワークシートを使っています。



(ワークショップでコンパスを使った図形の描き方を教えています。)

環境保護局で働く沖口隊員



沖口隊員にインタビューをお願いしたところ、みなさんのために活動の紹介文を書いてくれました。



活動内容

私は、ポンペイ島で環境教育隊員として働いています。環境の先生として、小学校を訪問して、環境を守る大切さを生徒に伝えています。

豊かな自然に囲まれているポンペイ島ですが、ごみや汚れた水を処理する仕組みは、整っていません。1人1人が環境を大切にすることを心がけないと、豊かな海は簡単に汚れてしまいます。もしもポンペイ島の自然を壊してしまったら、生活にどのような影響が起こるのか、生徒たちに伝えています。



ポンペイの素敵なおとこ

ポンペイ島はとても小さな島ですが、日本では見ることのできない、海の生物や木々や花々、果物がたくさんあります。

ポンペイ島で見つけた中で、「日本には絶対ない」と思った果物を紹介します。写真の果物は、パンダナスと言います。硬いですが、かじるととても甘いです。オレンジの部分をかじります。ちなみに右の棒はサトウキビです。かじって甘い汁を吸います。



江原小学校のみなさんへ

日本にも、日本にしかない豊かな自然があり、そこにしかない生物が住んでいます。ポンペイ島の環境を守ることができるのはポンペイに住む人だけであり、日本の環境を守ることができるのもまた、日本に住んでいる人たちだけです。日本の中でも、海外でも、様々な自然を見に行ってください。日本人もポンペイの人も、ほかの国々の人も、それぞれの自然の中で生きています。身の回りの豊かな自然を守らなくてはならないことに、きっと気付くはずですよ。

環境を汚してしまう生物は、地球上で人間だけです。環境を守ることができるのも人間だけです。